

京滋・奈良エリアフェスティバル2019 分科会について

❖京滋・奈良エリアフェスティバルでは分科会を行います。

30分 (発表10分、班内議論20分) × 2ターム

→希望調査は行いません。

事前に各生協で**事前に打ち合わせ**をお願いします。

❖分科会の目的

**様々な事例を聞き、議論することで2020年度
関西北陸ブロック方針の理解を深めること**

❖積極的に参加し、自大学に持ち帰ろう！！

分科会一覧はこちら



発行：全国大学生生活協同組合連合会
関西北陸ブロック

生協名・とりくみ内容		ターム
京都大学生協【日本全国ぐるめぐり】	組合員の食堂に関する声を学生委員が拾いあげて、食堂事業に反映させた取り組みです。多くの組合員からご当地メニューを募集し、キャンパス内の食堂ごとにご当地フェアを開催しました。複数の食堂を舞台に企画を展開し、多くの組合員の参加につながりました。	①
京都大学生協【Shopping Tour】	留学生委員会が主体となって行なった大学周辺のツアー企画です。留学生の視点でツアーを行うことでハラル対応のお店やホームセンターの紹介などにも配慮が及びました。生協店舗の紹介では、チケット手配など生協でできることも伝えられました。	②
同志社生協今出川キャンパス【ひとことカードコラボおにぎり総選挙】	おにぎり選挙をシール投票形式で行うとともに、より多くの組合員の声を集めるため、ひとことカードも活用しました。組合員が運営参加にかかわる機会を増やし、組合員の声を実際に反映させることにつながりました。	①
立命館生協衣笠キャンパス【総代会アンケートの取り組み】	昨年の12月から組合員を対象にアンケートを実施し、その結果をもとに総代会の議案をつくりました。1500枚ものアンケートを集めて分析することで、組合員の声がいっしょに反映された総代会になりました。	①
龍谷大学生協深草キャンパス【Ryukoku Friendship Party】	大学生協の組合員のなかでも留学生を対象にした取り組みです。学内の他団体と協力し、取り組みに参加する組合員の幅を広げることにつなげました。また、留学生と社会的課題について議論できていることもポイントの1つです。	②
京都工芸繊維大学生協【総代会関連企画】	有意義な総代会を実現するために、前年度までの学生委員中心の総代会を見直し、計画的な取り組みを進めました。総代集めや事前交流会から流れをつくり、参加した総代に「来年も参加したい!」と言われる総代会になりました。	①
京都経済短期大学生協【京都教育大学への店舗見学】	もともと学生委員会のなかった生協ですが、今年度から学生委員会が発足し、学生理事とともに活発に活動しています。学生委員と店長が他大学生協の店舗に実際に訪問して、そこの気づきを自大学生協の活動に活かすことにつながりました。	②
奈良女子大学生協【上級生委員会 SUNNY】	奈良女子大学生協では今年度、上級生委員会が発足しました。全ての組合員のよりよい大学生活をつくっていくことを目的に、自分の研究テーマを活かしたポスターづくりや卒業時の所属変更・共済継続手続きなど、上級生ならではの視点を持って、取り組みを行なっています。	②
奈良県立大学生協【通常総会】	組合員一人ひとりの意見を大切にするために総会前から多くの工夫がされていました。総会で出た意見を参考にして直近の企画に活かし、運営参加を実感することにつながりました。	①

ありがたい姿①

生協名・とりくみ内容		ターム
ありたい姿②	同志社生協今出川キャンパス【おいでよ、相談の森～KA・RA・DA大丈夫?～】 部内や他団体との連携をうまく活用し、組合員の健康に対してさまざまなアプローチができています。その中でも、給付事例から組合員の現状を捉えている点や加入のチェックを行い組合員に知らせることができている点がポイントです。	①
	京都教育大学生協【共済学習会】 京滋・奈良エリア共済推進委員にも協力してもらい、共済学習会を行いました。給付事例の分析を行うことで自大学の組合員の現状に目を向けることができました。その場で共済ボードをつくるなど、組合員まで広げるための活動にもなっています。	①
	奈良女子大学生協【Beauty Health Lab (BHL)】 栄養士による食生活相談をただ行なうだけでなく、組合員の現状を知る機会とし、次の取り組みにつなげることができました。企画後に栄養士から組合員の現状を聞きとり、その現状に即した冊子やポスター作りを行いました。	②
	滋賀県立大学生協【ヘルチエフエスタ】 同じ想いを持つ外部団体と一緒に組合員の健康のための取り組みを行ないました。また、事前にTwitterでブースの紹介を行なうなど、組合員の参加につなげました。	②
	福井大学生協【TAC (Travel Accident Card)】 「旅行中や合宿免許中」での組合員のリスクを考え、生協カウンターでの申込という直接接点のタイミングを活かして、共済について伝えることや共済加入の確認を行なっている取り組みです。	①
	京滋・奈良エリア 共済推進委員会【現状分析と新学期の提案】 この1年間の成果となる現状分析についてや、これから迎える新学期活動の場でどのような共済の提案ができるのかを扱います！ぜひ推進委員と一緒に考えてみませんか？	①
ありたい姿③	龍谷大学生協【新学期活動】 学生と職員が同じ目標をもって龍谷大生協全体で作りに上げている新学期活動。新学期活動の準備期間や総括なども学生と職員一緒にしっかり意見交流をしながら取り組みました。	②
	龍谷大学生協深草キャンパス【あなたも今日で書籍部推し】 組合員に書籍部の魅力を伝え、書籍を用いた学習への意欲を高めた取り組みです。教職員におすすり本を紹介してもらう等、一緒に学生の学びをサポートすることにつながりました。	①
	京都橘学園生協【新たなばなさんいらっしゃ〜い!】 組合員から運営スタッフを募集し、学生委員だけでなく組合員みんなで新入生を迎えた取り組み。企画当日はもちろん、事前の作り込みにも多くの組合員が関わりました。	①

生協名・とりくみ内容		ターム
ありたい姿③	奈良県立大学生協【知っ得! 就活相談会】 就職活動に関する取り組みです。学生委員だけで行うのではなく、実際に就活を終えた4年生と就活を支援している大学とが協力することで経験談と奈良生の実態が語られていることがポイントです。	②
ありたい姿④	立命館生協 OIC【選挙企画】 ショップでの模擬選挙を通して、組合員が社会に目を向ける・参画するきっかけをつくら取り組みです。3か月後に府議会選挙、半年後に参議院議員選挙がある社会の現状をしっかりと踏まえています。また自治体と協力し実物の投票箱を借りるなど、組合員が社会に生きている意識を持てる工夫がされていました。	①
	京都府立医科大学・府立大学生協(府大)【平和に関する取り組み】 今年度から平和についての活動に力を入れました。学習会から始まり、他の団体とも連携し、組合員にも考えてもらうためにできる活動を継続して行いました。	②
	奈良教育大学生協【防災 WEEK】 連帯での学びやそこで持った想いを自大学に広げ、学生委員会全体で社会的課題(防災)に取り組みました。それぞれの部署の強みを活かして、組合員に防災に興味をもらうことにつなげました。	②
	大阪教育大学生協【キャップで世界を救うのだ! ~投票でポイントゲットだぜ~】 環境活動をリ・リパック回収以外の側面で捉え、キャップ回収に取り組みました。また、環境だけでなく国際貢献の視点を持たせ、社会的課題を複数の視点で考えることにつながりました。	①
	京滋・奈良エリア 消費者教育タスクチーム【模擬出前講座】 新学期時期に起こりうる、大学生に起こりがちなリスクを取り上げ、実際に皆さんにも啓発しながらどのように啓発活動を行なったらいいのかを提案します。	②
	京滋・奈良エリア 社会的課題推進委員会【社会的課題を考える】 この1年間の社会的課題推進委員会の活動や推進委員の想いを話します。その後いくつかのテーマを設けて、様々な社会問題について議論します。社会的課題に興味がある人は、ぜひ一緒に議論しましょう。	②
その他	エリアフェスティバル午前企画【持続可能な社会と大学生協】 午前企画では、「持続可能な社会において大学生協が果たす役割」について議論します。午前の報告や議論の中で、疑問に思った点や考えたことなどを話しましょう。	①

気になる分科会は見つかりましたか？
 当日までお楽しみに！